

2015年 大学生の教育費に関するアンケート調査結果

ひめぎん情報センター

【調査対象】 短大・大学・大学院・専門学校に通う子どものいる愛媛県内の家庭 800 世帯
 【調査時期】 2015年11月中旬 【有効回答率】 31.4% (251世帯)
 【回答者の平均年齢】 50.6歳 【家庭の平均年収】 670万1,000円

……………子どもの性別・進学状況……………

★学生の性別 男子 47.1% 女子 46.2% 無回答 6.7%
 ★進学先 短大 7.6% 大学 74.9% 大学院 2.0% 専門学校 9.2% 無回答 6.3%
 ★大学の種類 国公立文系 19.5% 国公立理系 12.0% 国公立医科系 2.4% 私立文系 40.2%
 私立理系 6.0% 私立医科系 2.8% その他 9.6% 無回答 7.5%
 ★学校の所在地 首都圏 8.4% 近畿 16.3% 中国 12.0% 愛媛県 47.4%
 九州 1.2% その他 8.4% 無回答 6.3%
 ★学生の住居形態 自宅 37.8% 学生寮 9.2% 一人暮らし 43.8% その他 1.2%
 無回答 8.0%

1. 進学の理由 (複数回答)

	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年
希望の職業に就くため	17.5%	21.2%	19.9%	45.3%	42.9%	42.8%	44.2%	35.1%	40.1%	42.6%
教養を身に付けるため	13.8%	14.9%	16.1%	36.8%	41.7%	40.3%	39.2%	43.8%	45.1%	42.2%
専門知識・技術を身につけるため	19.1%	23.2%	21.0%	38.2%	30.9%	38.7%	32.5%	27.6%	31.3%	31.5%
人間関係を広げるため	10.3%	10.3%	10.5%	23.0%	30.9%	26.8%	26.6%	30.5%	32.2%	26.7%
資格・免許取得のため	—	—	—	19.6%	20.1%	20.4%	21.3%	22.1%	17.4%	22.7%
学歴社会だから	11.3%	10.3%	13.3%	18.9%	23.6%	21.7%	18.4%	20.5%	16.1%	19.9%

「希望の職業に就くため」、「教養を身に付けるため」がそれぞれ約4割を占めており、将来性を重視しつつ、人間性を高めることを目的として進学している人が多い。「資格・免許取得のため」22.7%は2009年の調査開始以来過去最高。

→就きたい職業または身に付けたい専門知識・技術や取得したい資格・免許としては、「公務員」27.1%、「医療」（医者・看護師など）18.2%が多かった。

進学先を決定 する際に重視 したこと (複数回答)

	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年
経済的事情	18.1%	15.2%	13.6%	19.6%	22.4%	22.7%	17.5%	17.2%	20.1%	25.1%
大学の授業内容	7.2%	6.0%	8.4%	7.9%	6.7%	18.5%	17.8%	17.2%	18.8%	20.3%
所在地	—	—	—	—	—	16.6%	22.5%	21.8%	19.1%	15.9%
大学の校風・知名度	(10.3%)	(13.3%)	(14.0%)	(17.0%)	(13.7%)	(16.3%)	(18.2%)	(9.4%)	(8.3%)	13.9%
就職時の有利さ	15.6%	14.6%	14.0%	15.5%	14.3%	14.4%	14.0%	14.6%	11.5%	13.1%
親の希望	4.1%	4.0%	2.5%	6.7%	4.7%	5.8%	5.3%	4.2%	6.3%	5.2%

「経済的事情」が前回比より5ポイント増加し、2013年以降2年連続で増加。（1996年の調査開始以来、過去2番目の高さ）

「大学の授業内容」は2年連続で増加し、1996年の調査開始以来、過去最高。大学の知名度や所在地などより中身を重視している人が多くなっている。自分の学びたいこと、身に付けたいことが明確になっている人が増えている。

※参考

★学校の所在地

	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年
首都圏	10.0%	12.3%	10.8%	14.8%	10.8%	9.6%	10.5%	8.4%	10.9%	8.4%
近畿	18.4%	21.5%	21.3%	16.2%	19.5%	16.0%	19.0%	16.2%	15.1%	16.3%
中国	10.0%	7.9%	8.7%	11.2%	9.6%	13.7%	13.7%	10.7%	12.5%	12.0%
愛媛	40.9%	37.7%	40.2%	36.5%	39.9%	36.7%	38.0%	47.1%	48.0%	47.4%
九州	5.9%	3.0%	4.5%	4.3%	6.1%	3.5%	2.3%	1.6%	3.6%	1.2%

2. 教育費

①受験時にかかった総費用（受験料・宿泊代・交通費等）

総費用 平均 21万2,000円

受験校数は2.5校

前回調査より5.7万円減少、1996年の調査開始以来、過去最低。受験校数は同数。

②年間の学費

（授業料・教材費等）

	平均
国公立	66.5万円
私立文系	99万円
私立理系	129.9万円

3. 大学生生活にかかる費用

①【自宅生】

1ヶ月の小遣い

小遣い 平均 1万6,000円

・・・前回調査より▲1,000円

（単位：万円）

02年	03年	04年	05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年
2.1	2.3	2.2	2.5	2.5	2.3	1.9	1.7	1.5	1.4	1.4	1.8	1.7	1.6

②【自宅外生】

毎月の仕送り

仕送り 平均 9万4,000円

・・・前回調査より+2,000円

（単位：万円）

02年	03年	04年	05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年
10.9	11.2	10.7	10.6	11.3	10.8	10.8	10.3	9.9	9.2	9.1	9.8	9.2	9.4

うち、住居費は平均4.9万円（前回調査より1,000円減少）。

③平均総費用額

（学費+生活費）

年間総費用（学費+生活費）**全体 平均 171万9,000円**

	国公立	私立（※文系）
自宅生	103万円/年×4年間=412万円	122.4万円/年×4年間=489万6,000円
自宅外生	175.6万円/年×4年間=702万4,000円	222.1万円/年×4年間=888万4,000円

4. 教育資金の貯蓄状況

（複数回答）

「学資保険等を利用」	48.2%	「毎月ではないが銀行に貯蓄」	25.9%
「毎月定額を銀行に貯蓄」	19.5%	「貯蓄は全くしていなかった」	9.2%

学資保険等を利用して教育資金を準備している人が最も多かった。

5. 大学進学後の家計のやりくり
(複数回答)

	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年
支出を節約する	52.8%	56.0%	54.9%	57.3%	68.5%	64.5%	60.5%	59.1%	65.1%	52.2%
預貯金を取り崩す	40.6%	41.4%	38.5%	39.6%	47.2%	41.9%	48.5%	46.8%	51.6%	44.2%
奨学金をもらう	56.0%	62.5%	64.3%	44.6%	37.3%	33.5%	26.3%	26.6%	34.9%	35.1%
子どもがアルバイトをする					28.0%	35.8%	33.3%	30.2%	33.9%	32.3%
共働きをする	28.1%	31.8%	28.7%	29.6%	35.6%	24.3%	30.7%	30.8%	33.2%	29.5%
教育ローンを利用する	34.7%	34.1%	23.8%	17.2%	18.4%	13.7%	14.6%	14.0%	12.2%	11.6%
祖父母の援助を受ける	11.9%	11.6%	9.8%	10.0%	14.3%	12.1%	9.9%	15.9%	12.5%	10.4%
特に何もしない	5.3%	6.3%	8.4%	5.3%	5.8%	5.4%	6.4%	4.2%	3.3%	6.8%

「支出を節約する」が最も多く半数を占めているが、前回より12.9ポイントの減少。
「教育ローンを利用する」11.6%は、1996年の調査開始以来、過去最低。
「奨学金をもらう」が2012年以降、3年連続で増加。

6. 子どもの就職先として希望するところ

	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年
県内の企業・団体等	35.3%	21.5%	20.7%	24.0%	27.2%	28.3%	24.0%	25.9%
県外の企業・団体等	4.5%	2.4%	3.2%	3.8%	4.1%	3.9%	6.3%	4.8%
公務員	—	12.4%	15.7%	13.7%	13.5%	18.5%	15.5%	14.7%
本人にまかせる	55.9%	59.7%	54.8%	53.0%	50.3%	45.8%	51.3%	51.8%
家業を継がせる	2.1%	1.9%	2.0%	1.3%	1.2%	0.3%	2.0%	0.8%

「本人にまかせる」が最も多く、半数以上を占めている。次いで「県内の企業・団体等」を希望している親が多く、その理由としては「近くにいる欲しい」、「親元だと安心」、「本人の負担軽減になる」などの声が挙がっていた。親心が垣間見える結果となっている。

7. 親の心配のタネ
(複数回答)

	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年
卒業後、就職できるか	49.7%	47.4%	52.1%	63.0%	70.3%	70.6%	66.7%	62.0%	64.5%	55.0%
就職後、すぐに退職しないか	—	—	—	—	—	—	—	—	10.9%	17.1%
下の子どもの教育資金が用意できるか	21.9%	20.5%	22.0%	18.9%	15.7%	17.3%	12.0%	13.0%	17.4%	15.5%
留年や中退をしないか	12.2%	14.6%	11.9%	12.2%	12.0%	10.5%	13.7%	14.0%	12.5%	12.8%
卒業まで蓄えがもつか	6.9%	10.3%	7.7%	11.9%	14.3%	10.9%	12.3%	13.6%	12.5%	12.0%
心配は特くない	15.0%	16.2%	12.6%	19.1%	14.6%	10.5%	14.0%	16.9%	14.8%	14.7%

「卒業後、就職できるか」が最も多く半数以上を占めている。次いで「就職後、すぐに退職しないか」が多く、前回より6.2ポイントの増加。

8. 卒業するまでに子どもに身につけておいて欲しいもの
(複数回答)

- ①「社交性」 62.9% ②「大学の専門知識」 48.2% ③「礼儀作法」 47.0%
④「語学力」 23.9% ⑤「その他」 1.6%

社交性が最も多く、6割以上を占めている。「その他」では、「忍耐力」という声も挙がっていた。

9. ①子どもの携帯電話について

- 「従来の携帯電話」 1.6% 「スマートフォン」 95.6%

ほとんどの学生がスマートフォンを使用している。

初回調査時(2012年)はスマートフォンを持っている学生は55.3%と、40.3ポイントも増加。

②子どもの携帯料金の負担

- 「子ども本人」 22.3% 「親」 74.1% 「その他」 0.4%

「親」が負担している人が多いが、前回より4.8ポイント減少、「子ども本人」が前回より2.2ポイント増加。

③子どもの携帯料金

月平均 8,800円(前回比▲800円)
料金は前回より800円減少。

<p>【新設項目】 10. ① 子どものアルバイトについて</p>	<p>「アルバイトをしている」 76.1% 「アルバイトはしていない」 17.5% 「アルバイトをしているかどうか分からない」 4.0%</p> <p>アルバイトをしている学生の方が多く、7割以上を占めている。</p>								
<p>② (アルバイトをしている人のみ) アルバイトの内容 (複数回答)</p>	<table border="0"> <tr> <td>①「飲食店」(レストラン・カフェ・居酒屋など)</td> <td>53.9%</td> </tr> <tr> <td>②「小売店」(スーパー・コンビニなど)</td> <td>26.2%</td> </tr> <tr> <td>③「教育関連」(家庭教師・塾講師など)</td> <td>14.7%</td> </tr> <tr> <td>④「その他」</td> <td>7.9%</td> </tr> </table> <p>アルバイトの内容としては「飲食店」が最も多く、半数以上を占めている。</p>	①「飲食店」(レストラン・カフェ・居酒屋など)	53.9%	②「小売店」(スーパー・コンビニなど)	26.2%	③「教育関連」(家庭教師・塾講師など)	14.7%	④「その他」	7.9%
①「飲食店」(レストラン・カフェ・居酒屋など)	53.9%								
②「小売店」(スーパー・コンビニなど)	26.2%								
③「教育関連」(家庭教師・塾講師など)	14.7%								
④「その他」	7.9%								
<p>【まとめ】</p>	<p>【進学理由】 「資格・免許取得のため」22.7%—2009年の調査開始以来、過去最高。</p> <p>【進学先を決定する際に重視すること】 「経済的事情」25.1%—前回より5ポイント増加。1996年の調査開始以来、過去2番目の高さ。 「大学の授業内容」20.3%—年々増加傾向。1996年の調査開始以来、過去最高。</p> <p>【受験時にかかった総費用】 平均 21万2,000円 (前回比▲5.7万円) —1996年の調査開始以来、過去最低。</p> <p>【年間総費用(学費+生活費)】 全体平均 171万9,000円 (前回比▲12.8万円) —1996年の調査開始以来、過去最低。</p> <p>【自宅生の1ヶ月の小遣い】 平均 1万6,000円 (前回比▲1,000円)</p> <p>【自宅外生への毎月の仕送り】 平均 9万4,000円 (前回比+2,000円)</p> <p>進学の理由として、「希望の職業に就くため」や「専門知識・技術を身に付けるため」、「資格・免許取得のため」など、将来の仕事に対する目的を持って進学しており、自分のやりたいことが明確になっている人が多くなっている。そのため、大学を選択するにあたって、経済的事情も考慮しつつ、大学の中身(授業内容など)を重視して選択している人が増えている。</p>								